

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	横田宏樹
	全体計画			経費区分	-	内線	3412
事務事業名	4158 農業振興対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	05012100 農業の活性化						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	事業	010000 農業振興対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
各種農業振興事業を実施し、農業の維持発展を図る。				人・農地プランの推進、そば栽培振興のため経費支出、農地集積の推進、アレチウリの撲滅作戦、農業用水及び排水路の保全支援、多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金事業等の推進等で農業振興につなげる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
①そば収穫用コンバイン及びそば製粉機の貸付 ②幹線水路の維持管理補助金の交付 ③人・農地プランの変更 ④須高農業振興会議の開催 ⑤多面的機能支払交付金の推進	①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画
平成29年度 実績	平成30年度 実績
①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画など	①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画など
平成31年度 予定	令和2年度 予定

指標名	支援制度を利用した耕作放棄地解消面積					単位	ha
算式						単位	ha
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標	42	47	52	57	62	
	実績	48	53.1	55.2			
指標選定の理由	農業従事者の高齢化、担い手の不足、有害鳥獣による農作物被害等による耕作放棄地の拡大を防止する。						
最終年度目標の根拠	平成21年度の解消面積15.4haを基準とし、平成26年度までに累計34.4ha解消できた。						
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		56,251	58,618
特定財源	国庫支出金	0	250
	都道府県支出金	36,570	39,476
	地方債	0	0
	その他	30	60
一般財源		19,651	18,832
人員数(人)	正規職員	1.2	1.6
	嘱託職員	0.0	0.3
	臨時職員	1.0	0.4
人員コスト	正規職員	8,580.0	11,440.0
	嘱託職員	0.0	862.5
	臨時職員	1,245.0	498.0
	計	9,825.0	12,800.5
市民一人当たりの経費		1.3	1.4
総額		66,076.0	71,418.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	85	燃料費85
13節 委託費	947	委託料947
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	53,545	関係機関負担金621 補助金5,647 交付金47,277
その他	1,674	臨時職員人件費ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	87	燃料費87
13節 委託費	500	果樹セミナー開催委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	58,010	関係機関負担金898 補助金5,410 交付金51,702
その他	21	臨時職員人件費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	農業振興を行う上で必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	補助金、交付金は各活動の後押しとなっている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国、県などの補助事業を積極的に活用し財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

補助金の交付を中心に各関係団体や活動組織の活動を支援している。
時代にそぐわない補助金などについて精査し必要ないものはなくし、新たに必要なものは検討をしている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

時代の変化に合わせた機能的な支援

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

各種支援制度等により、農業振興を図るために不可欠な事業である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--